

○澤岨哲也・比嘉 淳\*・高江洲和子\*\*・田場 聡\*\*\*・諸見里善一\*\*\*

マンゴー軸腐病の物理的防除法

Takushi,T., Higa,A., Takaesu,K., Taba,S. and Moromizato,Z. : Physical Control of Stem-End Rot of Mango.

近年、沖縄県では収穫後のマンゴー果実に果梗部から軟化腐敗する軸腐病が問題となっており、防除対策の確立が急務となっている。本研究では、本病の物理的防除法の確立を目的に、ハンダゴテを利用した果梗部熱処理による発病抑制効果並びに温湯処理技術による防除効果と果実品質への影響について検討した。病原菌*L.theobromae*をあらかじめ接種した果実果梗部に、先端部を平らに加工したハンダゴテを押し当て熱処理した結果、高い発病抑制効果が認められ、現場実証試験においても同様な効果が得られた。温湯処理試験では場内で開発した簡易温湯処理装置を用い接種果実での評価を行った結果、52℃20分処理で最も高い発病抑制効果が認められ、現場実証試験では本病の他に炭疽病に対する発病抑制効果も同時に確認された。温湯処理後の果実品質調査の結果、果皮ブルームの消失遅延並びにワックスの減少が確認された。このことから温湯処理は果皮の生理的特性に強く作用すると考えられた。

(沖縄農試・\*沖縄農試宮古・\*\*前沖縄農試・\*\*\*琉球大農)

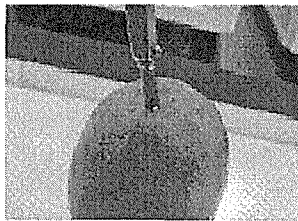


図 ハンダゴテによる熱処理

表 現地でのマンゴー軸腐病および炭疽病に対する温湯処理の発病抑制効果

		処理果数	発病果数	発病率(%)	発病度	防除価
52℃ 20分 <sup>1)</sup>	軸 <sup>2)</sup>	52	4 <sup>3)</sup>	9.1	3.8 <sup>4)</sup>	84.1 <sup>5)</sup>
	炭	52	23	44.2	15.8 <sup>5)</sup>	74.0
無処理	軸	52	25	48.1	23.9	-
	炭	52	40	76.9	60.8	-